

病害虫発生予察注意報 第1号

病害虫名 イネいもち病(葉いもち)

- 1 発生予想 いもち病が多発する恐れがある。
- 2 対象地域 県下全域
- 3 根拠
 - (1) 葉いもち発生予測モデル BLASTAM 及び BLASTAM-NAGANO によると、6月23日及び7月2半旬以降連日、感染好適条件および準好適条件が出現し、葉いもちの発生が予測された。
 - (2) 7月1半旬以降、平坦部を含む広域で葉いもちの発生が確認され、一部多発ほ場も見られた。
 - (3) 7月13日には広域に感染好適条件が出現し、今後病勢が進展する恐れがある。
 - (4) 7月7日気象庁発表の1ヶ月予報によると、前半の天候は曇りや雨の日が多いと予報されており、発病に好適な条件が続くと予想される。
以上のことから、7月4半旬以降葉いもちの多発が予想される。
- 4 防除対策と留意点について
 - (1) 発生ほ場では、直ちに葉いもちの防除を行う。
 - (2) 雨で液剤等が散布できない場合は、粉剤を雨間または少雨時に散布し、適期防除を心がける。
 - (3) 農薬散布にあたっては、周辺作物への飛散防止に十分注意する。
 - (4) 薬剤は農作物病害虫・雑草防除基準に基づいて選定する。
また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、同一系統の薬剤の連用は避ける。
 - (5) 窒素過多はいもち病の発生を助長するので、多発ほ場では追肥を控える。
 - (6) 発生には地域差が見られるため、今後の発生予察情報及び気象情報に注意する。

葉いもち発生予測モデル BLASTAM 及び BLASTAM-NAGANO

アメダスデータを利用して葉いもちの感染に好適な条件が成立する日を判定し、発生を予測するシステム。降水量等により葉面ぬれ時間を推定し、ぬれが成立している間の平均気温及び前5日間の平均気温により感染好適条件を判定する。判定結果より、広域的な葉いもちの発生が予測できる。

病害虫防除所 所長 篠原初
担当 発生予察チーム 和田美佐
電話 026-248-6471
FAX 026-248-1069
電子メール bojo@pref.nagano.jp

表1 BLASTAM 及び BLASTAM-NAGANO による葉いもち感染好適条件の判定結果（平成18年）

地点 月日	野濃 沢町	信濃 飯山	長野 長野	信州 新州	白馬	大町	穂高	松本	奈川	榑川	木曾	南木	開田	上田	東御	軽井	立科	佐久	諏訪	高野	辰野	原村	飯島	飯田	浪合	南信濃
6 / 23																										
24																										
25																										
26																										
27																										
28																										
29																										
30																										
31																										
7 / 1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										

：好適条件 ：準好適条件（好適条件にやや満たないもの）
 ：準好適条件の内、濡れ時間の平均気温または前5日の平均気温が18℃以下

表2 7月上旬葉いもち平均発病株率（%）
 （病害虫防除所巡回調査地点）

	本年	平年
東信	4.2	1.1
南信	0.3	2.0
中信	0.7	1.5
北信	10.9	1.0
県	3.3	1.4

表3 BLASTAM-NAGANOによるいもち病進展予測

